



前列右より
青山 三四郎議員
津田 新三議員
桐田 真人議員
竹内 照夫議員
中野 治郎議員
北村 正二議員
仲野 弘子議員
鷺見 達夫議員

後列右より
川口 正徳議員
近藤 眞弘議員
八田 憲児議員
竹内 基二議員
伊藤 茂議員
草野 聖地議員
幸光 正嗣議員

新春の候、市民の皆様におかれましては、輝かしい平成31年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、西日本集中豪雨、台風21号などが発生し、市内各所に大きな被害をもたらしました。市議会におきましては、9月通常会議において、2件の災害復旧関連補正予算を速やかに可決するとともに、11月通常会議においても災害復旧費を含む補正予算を可決したところであります。

さて、かねてより課題となっており、市民センター機能の在り方につきましましては、市民生活に最も身近なサービスの拠点であることから市民の皆様の声を踏まえつつ、人口減少社会への移行と少子高齢化の進展に伴い、持続可能なまちづくりが求められている中で、本市の将来を見据えた長期的な展望を踏まえ、徹底した議論を尽くしてまいりたいと考えております。

また、湖誠会が以前から要望してまいりました中学校給食につきましましては、来年1月の実施に向けて東部学校給食共同調理場が建設中であり、ごみ処理施設につきましましては、新環境美化センターが平成33年度、また、新北部クリーンセンターが平成34年度の稼働に向けて、計画が進んでいるところであります。

結びに、われわれ市議会議員の任期も、残すところ3カ月余りとなりました。本会の所属議員は最後まで市政の発展に全力を尽くす所存でありますので、皆様方のさらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさついたします。

ごあいさつ



湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に 大津の将来を創造します。

① 北村 正二
JR和邇駅前周辺道路は昨年12月に供用開始となりましたが、引き続き駅前広場のシェルター（広場通路屋根）設置が予定されています。

② 津田 新三
住み続けたい町「大津」を目指し、市民福祉の向上に全力を尽くすと共に、北部地域のハード・ソフト事業を通じ地元の発展に努めます。

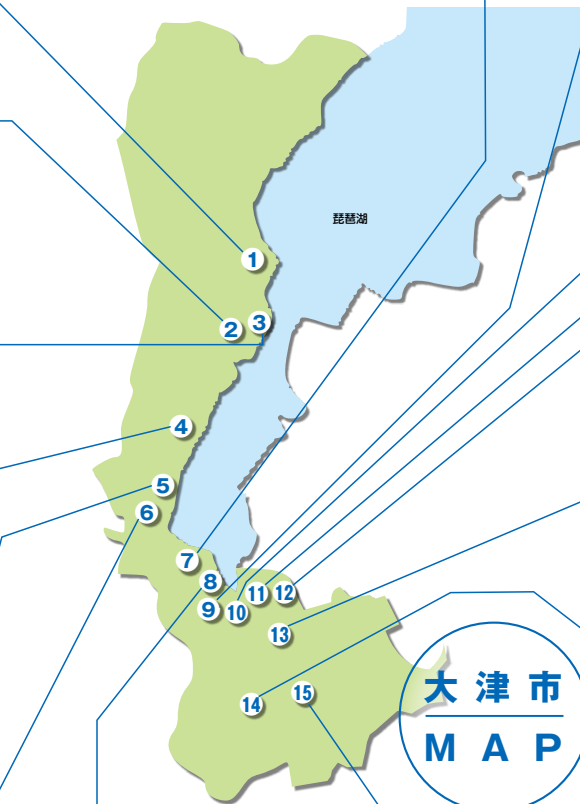
③ 仲野 弘子
まちづくりの充実を目指し、堅田駅西口土地区画整理事業の平成31年度の完成に向けて取り組み、大津市の発展のため全力を傾注してまいります。

④ 中野 治郎
4つの約束①県道比叡辻日吉線の拡幅整備事業を推進②坂本地区文化遺産で活性化③在宅医療・介護連携の推進④幼児教育の支援に全力で取り組みます。

⑤ 八田 憲児
これまでに培った経験を生かし、正しい道徳心、倫理観、価値観を持ち、まごころ持って議員活動に取り組み、市政・県政・国政への架け橋を担います。

⑥ 草野 聖地
子どもは、地域の未来です。地域の子どもの笑顔を増やし、すべての人たちの元気につながるように最善を尽くします。一緒に楽しみましょう。

⑦ 竹内 照夫
大津市には、京都や奈良に負けない歴史と文化があります。こうした歴史・文化遺産を守りつつ、新たなまちの魅力づくりに尽力してまいります。



⑧ 伊藤 茂
自己実現像は「ホッとするおっちゃん」です。今年も惻隠の情をもって皆様に安らぎと癒しを与えられる人間を目指します。

⑨ 竹内 基二
子どもたちが元気に育ち、お年寄りが安心して老いを迎えられる環境を整え、災害や事故から市民を守り、歴史文化を大切にする大津を目指します。

⑩ 鷺見 達夫
新しく出来た都市計画道路に接合する422号の渋滞緩和対策に取り組みます。住み良い大津を皆さんと共に作りましょう。

⑪ 近藤 眞弘
人口増加が続く瀬田地域と、人口減少地域の課題解決に向け、子どもから高齢者まで市民が豊かさを実感できる持続可能なまちづくりに努めます。

⑫ 幸光 正嗣
住んで良かったまち、住みたいまち大津を目指し、地域に根ざした視点で皆様の思い・お声を形にするべく全力で取り組んで参ります。

⑬ 桐田 真人
「日々、真剣勝負」。真面目に丁寧に議員活動に取り組み、ひとつひとつの結果を重ね、信頼され、期待される確かな政治を行います。

⑭ 青山 三四郎
・生み、育てやすい大津市
・住みやすい環境をつくる大津市
・若者を呼び込める大津市
・女性が活躍しやすい大津市 を目指します。

⑮ 川口 正徳
市民の皆様のご要望ご意見を真摯に傾聴し、市政へ具申し、安心安全に暮らしていただけるよう負託を受けた者として、職務を全うして参ります。

11月通常会議 一般質問

※質問順に掲載しています。

質問、答弁は一部抜粋です。
詳しくは、大津市議会ホームページをご覧ください。

Q 青山三四郎議員

SDGsの取り組みの推進について

SDGsへの取り組みにより、独自性のあるまちづくりの推進が想定され、それぞれの政策統合による相乗効果も得られると考えるが、それらをどのような手法で実行性のあるものにしようとしているのか伺う。

A これまでの女性活躍や待機児童解消に向けた取り組みが、SDGs 5番目のゴール「ジェンダー」の推進、8番目のゴール「成長・雇用」また4番目のゴール「教育」にもつながっており、相乗効果になっている。

今後も様々な分野において相乗効果を得られるよう、大津市SDGs推進会議の活用や多様なステークホルダーとの連携を図ることなどにより、取り組みを進めていきたいと考えている。

Q 鷺見 達夫議員

家庭系ごみの搬出方法について

誰もが迷わず「びん」を搬出できる周知啓発と、全ての「びん」が再生可能となるよう将来に向けた検討が必要では

A これまで、「びん」の見分け方は市ホームページや自治会への回覧を通じて周知啓発しており、今年度は家庭ごみの分別方法を説明したチラシを広報おつ9月15日号に折り込み配付した。しかし判断を迷われるケースもあることから、ごみ分別アプリ「わけナビ」を活用するなど、更なる周知啓発を図っていく。

また、新たな一般廃棄物処理基本計画を2020年度に策定するにあたり、市廃棄物減量等推進審議会での議論やパブリックコメントを通じて意見を募り、効率的な分別に向けて検討していく。

Q 川口 正徳議員

大型ごみ等の収集申し込み手続きについて

A ー等を使った行政サービスの効率化と市民の利便性を向上させる取り組みについて、アプリやインターネット等を使った受付システムを導入すべきと考えるが、執行部の考えを伺う。

A 申請内容によっては再度電話等で詳細確認をしなければならぬなどの課題もあるが、市民サービス向上の観点から、まずは大津市電子申請システムを活用した大型ごみの受付について導入を図ってまいりたいと考えている。

Q 近藤 眞弘議員

市民センター機能等の在り方について

各学区における意見交換会の結果と施策への反映及びまちづくり協議会の設立方針は

A 意見交換会では、支所業務を見直し、人員を減らすご意見などを頂いた。今後はこれらのご意見を整理し、支所の利用実態について改めて把握したうえで、スケジュールも含め、庁内検討委員会において素案からよりよい案へとまとめていく。

また、まちづくり協議会は、地域の実情に合わせて設立することが大切であり、設立支援補助金に加え運営支援補助金の制度化に取り組みとともに、説明会や個別協議など、地域との協議を重ねながら実情に応じた設立を支援していく。

Q 伊藤 茂議員

公共施設等の窓ガラスの安全性について

市民センターについて、一部の部屋ではワイヤー入りのガラスを採用されているが、他は一般的なガラスとなっている。今後、飛散防止フィルム等の採用計画について訊ねる。

A 近年の異常気象や台風等の発生頻度を考えると、今後、市民センターへ避難する市民は増加すると考えるので、市民の安全・安心を考え、避難者が主に利用する和室の窓ガラスに飛散防止フィルムを張るなどの対策を検討していく。また、避難時の市民センターの利用について、窓ガラスには近づかない、火器の使用には注意する等の張り紙により注意事項を周知していく。

Q 八田 憲児議員

大津びわこ競輪場跡地利用に伴う周辺道路の整備について

来年十一月から多目的広場と大型商業施設として活用されるが、西側市道幹二二五号線の渋滞が予想されるので整備方針を聞くと共に、大津駅周辺の、都市計画道路三九九号馬場皇子が丘線については、皇子山工区の早期着手と近江神宮参道以北への延伸を考えるべき、方針を聞く。

A (市長) 可能な部分については、地元の要望に对应できるように、利活用業者と協議していく。
(未来まちづくり部長) 都市計画道路三九九号馬場皇子が丘の皇子山工区の着手時期は未定であるが、北国町工区完了後に周辺の土地利用や交通状況を見極めた上で判断する。また、その延伸は困難である。

本市の取り組み

市民センター機能等の在り方について

本市では、持続可能なまちづくりを目指し、2年目となる大津市総合計画第二期実行計画にもつき、さまざまな施策を推進しています。なかでも昨年末に執行部から提示された「市民センター機能等の在り方」の素案について、議会でも度々議論を尽くしています。湖誠会では、全員が反対であることを確認しました。今後提示される「よりよい案」についても、十分な精査を行い、地域の実情をふまえた実案にすることを目指します。

大津びわこ競輪場跡地の利活用について

大津びわこ競輪場跡地については、公募により昨年8月に事業者が選定されました。多目的公園を備えた商業施設「フランチ大津」が2019年11月の開業に向け建設中です。敷地面積約6万4800㎡であり、市民にとっては、憩いとにぎわいの施設になります。大津市は、混雑の予想される周辺道路整備なども含めて準備を進めています。



新東部学校給食共同調理場の整備について



新東部学校給食共同調理場イメージ図

共働き家庭の増加や貧困児童の問題などからご要望の多かった中学校給食が2020年1月からスタートします。湖誠会では安全な給食の提供や、地元雇用等について求めており、地産地消の観点から県内産食材を25%使用することや、3年間は70%を地元雇用とし、それ以降は100%を目指すこと、また今回調理を請け負う企業は45年にわたり食中毒ゼロを継続していることを確認しています。

庁舎整備と中消防署整備について

大津市の本館は昭和42年に竣工して以降、人口増加や市民サービスの多様化などにより職員数も増加し、また耐震化の課題もあり、新庁舎整備に向けて検討を重ねてきました。

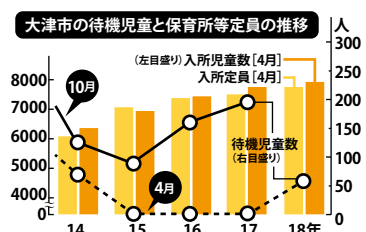
しかし、建設を予定していた隣接旧国有地が土砂災害警戒区域に指定されたことで、更なる検討が必要になりました。また、市民の安全・安心を確保するためにも、早急に中消防署の移転・整備を求めてきましたが、候補地選定にすら至っていません。

湖誠会としても、今後数十年にわたって市民が安心して利用できる本庁舎となるよう、早急な整備を求めています。

トピック

待機児童緊急事態宣言

大津市は、これまで3年連続ゼロであったものが、今年度当初58人になったことを受けて待機児童緊急事態宣言をしました。比較的短期間に整備ができる小規模保育事業所の拡充や、保育士確保対策の予算を11月補正で措置しました。



自動運転実証実験スタート

本市は国土交通省が実施する実証実験に選定され、道の駅「妹子の郷」を拠点に和邇駅から葛川地域間における人流・物流の移動手段確保のため自動運転サービスの実証実験を行います。また本市独自にJR大津駅周辺でも実施予定です。



災害対応

昨年は記録的な豪雨や地震等様々な自然災害が発生しました。大津市においても例外ではなく、復旧費用を補正予算で措置しました。また、大阪府北部地震の痛ましい事故を受け、市内全域の公共施設ブロック塀を点検し必要な予算を措置しました。

西日本豪雨災害

補正額 約4億6,387万円

台風21号

補正額 約3億3,900万円

ブロック塀

補正額 約1億8,280万円